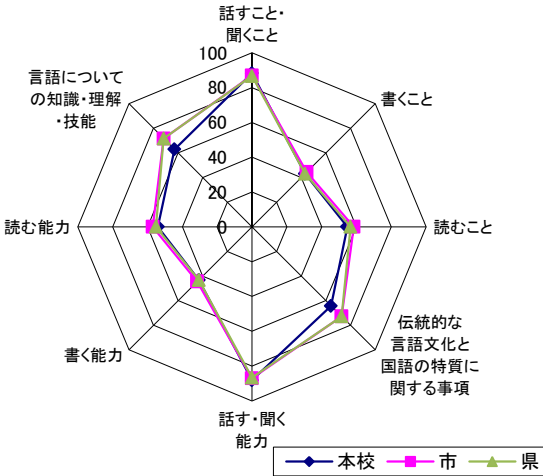


宇都宮市立横川西小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	88.2	87.0	86.7
	書くこと	43.1	44.5	43.1
	読むこと	54.7	58.5	56.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	64.2	72.8	72.8
観点	話す・聞く能力	88.2	87.0	86.7
	書く能力	43.1	44.5	43.1
	読む能力	54.0	57.0	55.1
	言語についての知識・理解・技能	63.0	71.7	71.7



★指導の工夫と改善 ○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○「話し合いの内容の聞き取り」に関する問題の平均正答率は、市平均より1.2%上回った。	・大切な事柄を聞き逃さないように、聞き取りの観点を提示したりメモを取る機会を増やしたりして、話の内容が確実に理解できるように指導を重ねる。
書くこと	○「報告書の構成を理解する」問題における正答率は、57.6%で、市の平均正答率を2.7ポイント上回っている。●「報告書の構成」に関する問題の平均正答率は、市の平均正答率より1.4%下回っている。	・中学年は、見学や体験等をする機会が多い。他教科の学習においても、依頼文やお礼の手紙等を積極的に書かせることで、書き方のポイントを理解させていきたい。
読むこと	○物語文の読解においては、登場人物の気持ちを想像したり場面の移り変わりを読む項目の平均正答率は、県の平均より上回っている。●説明文を文と文のつながりに注意して読む問題についての平均正答率は、県の平均正答率を11.6ポイント下回っている。	・物語文の学習においては、言葉や文章から場面の様子や移り変わりを読み取らせたり、登場人物の気持ちを想像させたりする活動を通して、さらに理解を深めさせたい。 ・説明文では、中心となる言葉や文に着目させて、要点や文章構成が、正しく理解できるように指導する。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●読み書きに関する問題における平均正答率は64.2%で、市の平均正答率より8.6%下回っている。	・ミニテストや50問テストを実施したり、家庭学習で毎日漢字練習に取り組みせたり、繰り返し練習させることで、習熟を図っていきたい。